

## 全国で看護の日の企画続々！

### 岩手県医労連

「医療事故をなくし、安全でゆきとどいた看護を！」

5月15日(土)

岩手県民会館ホール

アクション「日本語方言によるカンツォーネ」  
(尾川カオル)

講演「安全・安心の確保をめざして」

(内田妙子・航空労組連絡会議長)

白衣のデモ行進

### 岡山県医労連

5月8日(土)

倉敷

「街角健康相談」

血圧・体脂肪・肌年齢・骨密度測定  
保健師による健康相談・栄養士による栄養指導  
看護現場のパネル展

### 山形県医労連

5月8日(土)

看護師の大幅増員を求める白衣の街頭宣伝行動

ピラにポケットティッシュをつけて配布、書名をしてくれた人には、ボールペン等を配布

### 福岡県医労連

「医療・看護改善運動の貴重な歴史を学ぼう」

5月15日(土)

北九州会場と福岡会場の2ヶ所

講演「私たちは看護師確保法制定に向けて、こう運動した」

(江尻尚子元日本医労連執行委員長)

「安全でゆきとどいた看護実現の課題にむけて」(大村淑美看護闘争委員長)

看護闘争のビデオ上映

### 埼玉県医労連

春のナースウェーブ行動

5月16日(日)

埼玉教育会館

講演「職場のメンタルヘルス」

天笠 崇(東勤医会メンタルクリニックみさと所長)

意思統一集会

午後より浦和駅での宣伝・署名行動

### 山口県医労連

「看護と介護の充実を」

5月12日(水)

「白衣の座り込み」(市民会館前)

市役所までの「昼休みデモ」

(県医労連・県社保協・地区労連の共催で行います)

## 04 春闘 厳しくても闘えば要求前進！

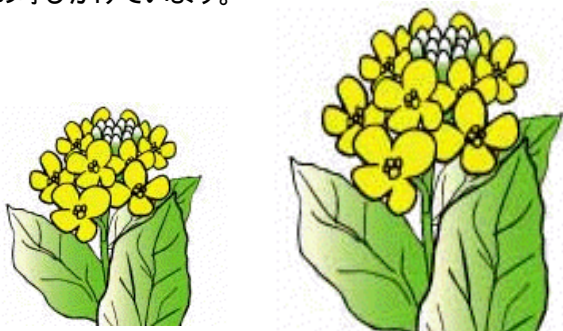
### 広島赤十字・原爆病院労組

#### 取れていない休憩は時間外対応を行う

「準夜勤務など、ほとんど休憩も取らずに仕事をして、終了時間は時間どおり、こんなに忙しいのに時間外取れないなんておかしいね」などの声がありました。組合が要求し続けていた「休憩時間が取れなかった場合は、時間外労働として取り扱い時間外手当を支給すること」が、数回におよぶ休憩時間の実態調査の結果、経営側に認められ「取れていない休憩時間を時間外対応で行う」ことを約束しました。

健康管理センターの始業前のサービス残業も、組合の要求の結果、一部「早出業務」に改善がはかられました。

組合は、「時間外に働いた分は、もれなく時間外手当を請求しよう！時間外労働に対して、手当てを請求するのは当然のこと」と、職場にサービス残業は正の呼びかけをしています。



### 神奈川・横福協労組

#### 外来看護夜勤手当を500円アップ

#### 全労災

#### 救急の宿日直改善で回答

「救急の宿日直について、3ヶ月平均で、曜日を勘案し、職種ごとに判断し、1日に5人以上の患者に対応した場合は、交代制にする」と理事会は回答。

### 岩手医大職組

#### 看護師減らし強行で地労委へ

大学当局は、4月から病棟一部の看護師削減を強行しました。1ヶ月足らずの交渉の途中での強行であり、組合は「看護師の削減はせず、削減前の病棟人員配置に戻すこと」を求め、地労委へ「斡旋」申請を行いました。

当局は、昨年12月に、「組合の合意が得られれば、4月から中病棟(3~9階)にクラーク(派遣)を各1名配置し、各階看護師1名をマイナスとする」と提案。交渉を重ねてきましたが、3月16日業務委託によるクラークを「試行」として強行導入。同月24日には、当局は、看護師減での勤務表をいっせいに全病棟に提示。組合は抗議文を当局に提出し、地労委へ「斡旋」申請をおこないました。